

名 称	令和4年度 道路講習会 時代のニーズを捉えた道路づくり「実務に役立つポイント (ほこみち・警察協議・舗装)」(ライブ配信)		
実施日	令和4年10月28日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	106名(会員106名(33社)、非会員0名、行政0名)		
実施目的	本道路講習会は、我が国の社会経済を支える道路事業の取り組み等への理解を深めることを目的として、道路設計を担当する技術者を対象に、昨今の道路空間利活用の取組や警察協議のポイント、コンクリート舗装設計の留意点について講習する。		

## 実施概要

### 1. 開催概要

今回で25回目となる道路講習会は、令和4年10月28日(金)13:30~16:30に下記プログラムに沿って開催した。なお、今回は昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoomを活用したオンライン方式の開催とした。外部より専門の講師を招き講演を頂くとともに、各公演後にはZoomのチャット機能を利用した質疑応答を行った。

### ●令和4年度 道路講習会【ライブ配信】プログラム

13:30 ~13:40	講習会に関する注意事項等 主旨説明・開会挨拶	横川 委員 久保 委員長
13:40 ~14:30	講演Ⅰ「安全・安心、賑わい、自然環境など 多様なニーズに応える道路空間形成について」	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部道路環境研究室 主任研究官 橋本 浩良 様
14:30~14:40	休憩 (10分)	
14:40 ~15:05	講演Ⅱ-1「信号制御方法のポイントについて」	警察庁指定広域技術指導官 埼玉県警察本部交通路交通規制課 交通管制センター所長 山崎 晃由 様
15:05 ~15:30	講演Ⅱ-2「警察協議のポイントについて」	埼玉県警察本部交通部交通規制課 信号機施設・施設管理課補佐 谷 寛台 様
15:30~15:40	休憩 (10分)	
15:40 ~16:30	講演Ⅲ「コンクリート舗装に関する 設計上の留意点について」	株式会社 NIPPO 技術企画室 技術推進グループ 課長 金澤 守 様 担当課長 村岡 克明 様
16:30 ~16:40	講評・閉会挨拶	竹花 副委員長



講演Ⅰ 国土交通省 橋本様



講演Ⅱ-1  
埼玉県警 山崎様

講演Ⅱ-2  
埼玉県警 谷様



講演Ⅲ NIPPO 村岡様

### 2. 講演内容

#### ①講演Ⅰ：「安心安全、賑わい、自然環境など多様なニーズに応える道路空間形成について」

・我が国における道路空間利活用の経緯についてご説明頂くとともに、多様なニーズに応えるための有用な個別施策(歩行者利便増進道路, 占用特例制度, 公募専用制度)や道路空間の利活用の取組例(グリーンインフラの導入及び課題)についてご講演頂いた。

#### ②講演Ⅱ-1：「信号制御方法のポイントについて」

・道路管理と交通管理について関連法令(道路法, 道路交通法)の観点からご説明頂くとともに、信号制御方法のポイントとして、信号制御の3要素(サイクル長, スプリット, オフセット)をはじめ、車両感知器の重要性や埼玉県警管轄内における信号機による交通事故防止の実態についてご講演頂いた。

#### ③講演Ⅱ-2：「警察協議のポイントについて」

・警察協議の根拠と留意事項についてご説明頂くとともに、警察協議時のチェックポイント(交差点の形状, 車線運用, 整流化, 交通制御, 交通安全施設)や大規模小売店舗立地法についてご講演頂いた。

#### ④講演Ⅲ：「コンクリート舗装に関する設計上の留意点について」

・コンクリート舗装の概要についてご説明頂くとともに、コンクリート舗装の種類(普通Co舗装, 連続鉄筋Co舗装, 橋面Co舗装)及び各施工方法については、実例写真を用いてご講演頂いた。また、将来の修繕工事における施工例についてもご紹介頂いた。

### 3. アンケート結果

講習会終了後に、道路講習会内容やオンライン開催について質問するアンケートをWEB方式で実施した。

各講演内容における受講者への貢献度は、概ね高い評価を得ることができた。今後の道路講習会の必要性や継続参加希望は95%程度と高い要望があり、参加方式はWEB希望が72%と高い結果となった。なお、受講料の1,000円は、約90%が妥当との回答であった。